

# 「老舗企業」新潟に1681社 全国3位の老舗出現率

市区郡別の老舗出現率では「加茂市」が全国5位  
「酒」関連業種が目立つ

## 新潟県・「老舗企業」分析調査(2025年)



本件照会先

目黒 健太郎(調査担当)  
帝国データバンク  
新潟支店  
025-245-5606  
info.niigata@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/04/23

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

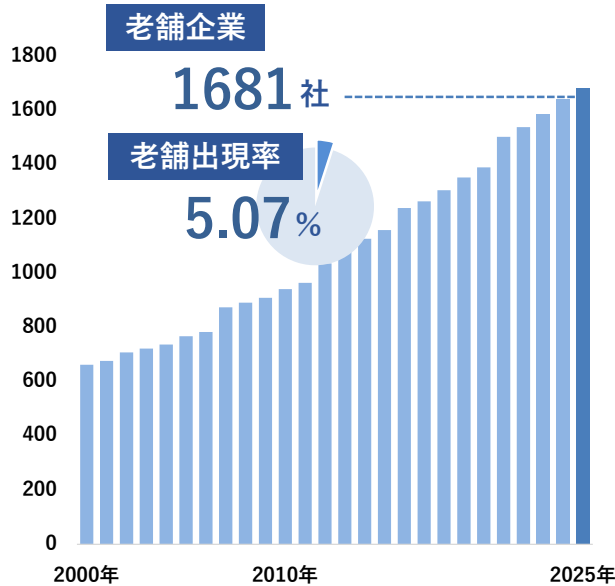
業歴100年を超える老舗企業は2025年12月時点で新潟県に1681社。老舗出現率は5.07%で、全国47都道府県中では「新潟県」はトップの「京都府」、2位の「山形県」に次ぐ3位。市区郡別でみると、「加茂市」が5位に入った。業種大分類別では、「小売業」が最も多く、「製造業」が続いた。また、業種細分類別でみると、「酒類卸売業」がトップとなったほか「酒」関連業種が目立った。2026年も80社程度が新たに老舗企業に加わるとみられる。

帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025年12月時点、約150万社収録)に加え、独自で収集し営業の実体が確認できた企業を基に、創業・設立から100年以上の企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

## 新潟県に老舗企業は1681社、老舗出現率は5.07%

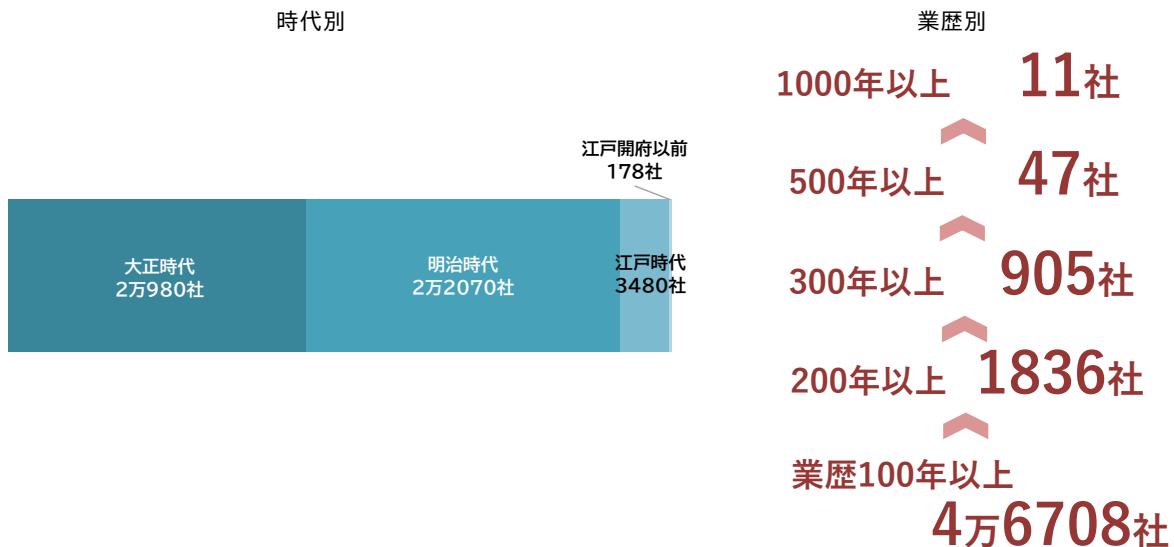
2025年12月時点で業歴100年を超える老舗企業は、新潟県に1681社あることが判明した。現在のNHKがラジオ放送を開始し、普通選挙法が公布された1925年(大正14年)に創業した41社が老舗企業に加わった。新潟県における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は5.07%と前年(2024年、5.02%)に続き5%台となった。

老舗企業数推移



一方、全国の老舗企業約4.6万社のうち、業歴200年以上が1836社、300年以上が905社、500年以上が47社となり、そのうち、日本最古の企業として有名な金剛組(578年創業、大阪府)を筆頭に「業歴1000年企業」は11社を数えた。元号別にみると、江戸幕府が開府した1603年以前に創業した企業は178社で、江戸時代に創業した企業は3480社、明治時代は2万2070社、大正時代が2万980社となっている。

老舗企業 時代／業歴別(全国)



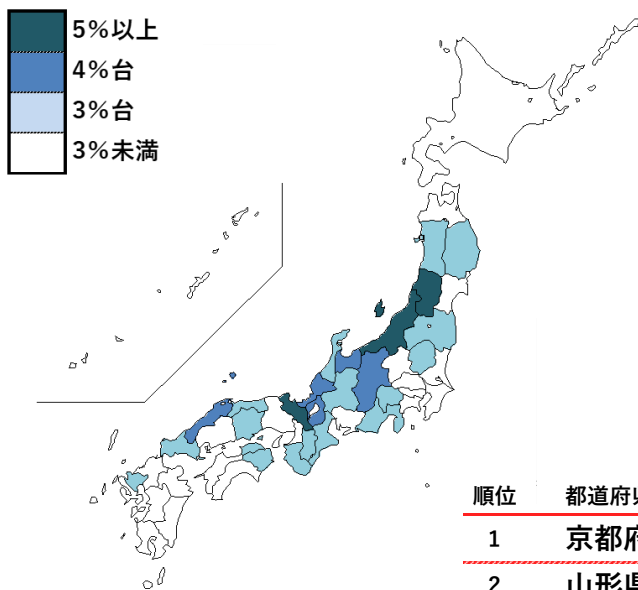
## 老舗出現率、京都府がトップ、新潟県は3位

全国47都道府県別に老舗出現率をみると、「京都府」が5.45%でトップだった。古都として栄え、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことが老舗企業の存続につながっていると考えられる。以降、「山形県」(5.44%)、「新潟県」(5.07%)と続き、この3府県が5%を上回った。そのほか、日本海側の地域を中心に5県が4%を上回り、全体(3.11%)を上回ったのは23府県だった。

一方で、大都市圏は比較的低水準で、「東京都」は2.32%、「大阪府」は2.30%、「愛知県」は2.95%だった。そのほか、九州エリアでは軒並み老舗出現率は低く、沖縄県は0.17%にとどまっている。

また、老舗出現率を市区郡別でみると、10%超の地域が10地域あった。そのうち、19.20%と突出して高かった京都市東山区など、4市区郡が京都市内だった。新潟県からは、桐箆笥・織物といった伝統産業(木工・繊維)の基盤が確立されていた加茂市が老舗出現率13.20%で5位に入った。

老舗出現率 都道府県別／市区郡別上位10地域

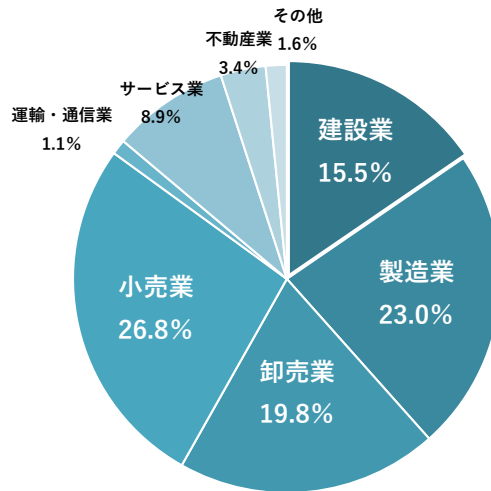


順位	都道府県	老舗出現率	順位	市区郡	老舗出現率
1	京都府	5.45%	1	京都市東山区	19.20%
2	山形県	5.44%	2	京都市上京区	14.34%
3	新潟県	5.07%	3	千葉県勝浦市	14.05%
4	島根県	4.59%	4	京都市下京区	13.59%
5	福井県	4.56%	5	新潟県加茂市	13.20%
	⋮		6	京都市中京区	12.48%
43	福岡県	1.82%	7	兵庫県美方郡	10.40%
44	鹿児島県	1.69%	8	山梨県西八代郡	10.31%
45	神奈川県	1.63%	9	千葉県銚子市	10.28%
46	宮崎県	1.56%	10	山形県南陽市	10.02%
47	沖縄県	0.17%			

## 小売業・製造業・卸売業で約7割 細分類では酒関連が目立つ

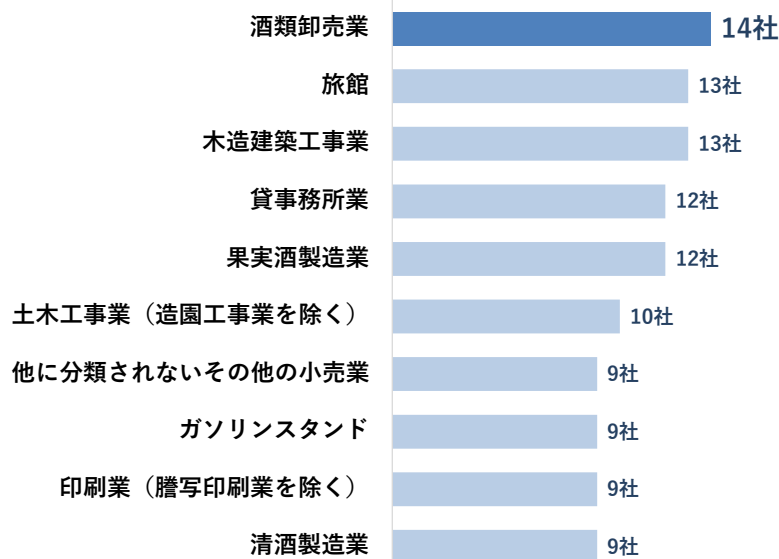
業種大分類別にみると、最も多いのは「小売業」で老舗企業全体の26.8%を占めた。次いで、「製造業」(23.0%)、「卸売業」(19.8%)となり、同3業種で約7割を占めた。

老舗企業 業種大分類別構成比



業種細分類別の上位10業種をみると、「酒類卸売業」が14社でトップとなった。また、「果実酒製造業」(12社)「清酒製造業」(9社)といった酒関連業種が3業種ランクインするなど、米どころ新潟で古くから産業として根付いてきた「酒」に関連した業種が目立った。このほか、「旅館」(13社)や「木造建築工事業」(13社)、「土木工事業(造園工事業を除く)」(10社)などの建設業が上位となった。

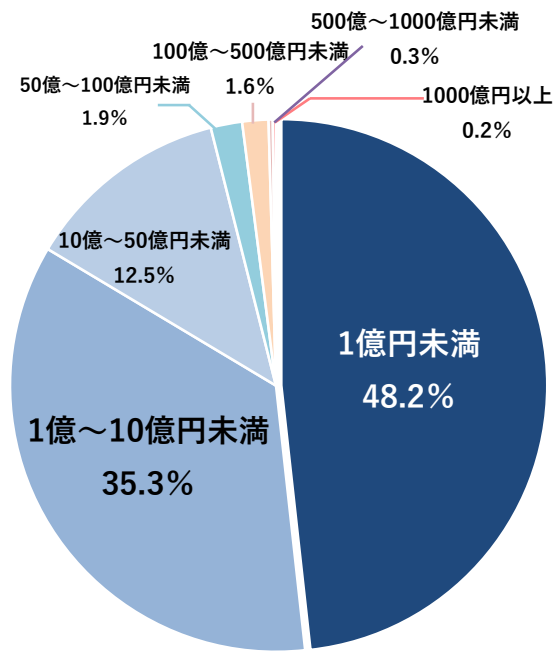
老舗企業数 業種細分類別上位10業種



## 1億円未満が約半数、10億円未満で8割超

売上規模別にみると、「1億円未満」が最も多く48.2%と半数近くとなったほか、「1億～10億円未満」(35.3%)を合わせた「10億円未満」が83.5%と8割以上を占めた。規模は大きくなくても着実に事業を継続しているケースが多い。

老舗企業 売上高構成比



## まとめ

新潟県で業歴100年を超える老舗企業は1681社であることが判明した。米どころとして産業基盤が安定していたこと、北前船の寄港地として商業が発展してきた歴史などを背景に、老舗出現率(5.07%)は全国で3番目に高かった。

総じて長期にわたって事業を継続するためには、業界の常識にとらわれず、慎重さを持ちながらも時として大胆な発想で業態転換などを行っていくことも重要となる。また、そうした姿勢のもと、災害や戦争などをはじめ幾多の危機的状況を乗り越えてきた老舗企業から学べることは多い。

2026年に新潟県で創業100年を迎える企業は79社あると見込まれる{帝国データバンク新潟支店2025年12月18日発表、新潟県・「周年記念企業」調査(2026年)}など、新たに老舗に加わる企業は今後も増加する見込みで、新潟県企業における老舗出現率の更なる上昇が期待される。